

## 寅さん歩 その26

### 東京の主要道路の起点～終点



### 方南通り

平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」、「中野通り」、「平和橋通り」、「大久保通り」、「蔵前橋通り」、「道灌山通り」、「川の手通り」、「自由通り」、「丸八通り」、「新目白通り」、「ゆりのき橋通り」と歩いてきました。

今回は「方南通り」を歩きます。方南通りは新宿区西新宿の新宿副都心の西の外れの熊野神社前交差点を起点に、杉並区大宮の井ノ頭通り西永福交差点に至る延長約5kmの道です。写真右上は方南通りの道路名標識（都道14号線）です。道路法の道路名は起点から清水橋交差点までが都道432号線、以降が都道14号線（写真右上）になります。方南通りは当初は栄町通りと呼ばれていましたが、杉並区の発足時に地名の字名「方南」が採用されています。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[新宿中央公園] 新宿区西新宿二丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 都庁前駅

新宿中央公園（写真下左）は西新宿の新宿高層ビル群の一角にあり、付近の貴重な緑地となっています。もともとは隣接する熊野神社の敷地の一部でしたが、戦前は小西六写真工業（現在のコニカミノルタ）の工場敷地、戦後は新宿副都心計画の一環で淀橋浄水場跡地と合わせて、1968年（昭和43年）4月開園した都立公園です。写真下右は公園から見た東京都庁とハイアットリージェンシー東京です。



園内には大田道灌の山吹の里伝説の「久遠の像」（写真下左）と熊野神社社殿（写真下右）があります。



## 【熊野神社前交差点】 新宿区西新宿五丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 都庁前駅

熊野神社前交差点（写真下左）が方南通りの起点です。方南通りの道路法上の道路名は起点から次の清水橋交差点までは都道432号線（写真下右）です。熊野神社は中野長者と呼ばれた紀州出身の商人 鈴木九郎により応永年間（1394～1428）に創建されたと伝わり、熊野三山から十二社権現をすべて祀った

ので、地名も十二社とも呼ばれました。池や滝があり江戸から明治の景勝地として賑わった場所です。社殿は熊野神社前交差点の左側にあります。



## [清水橋交差点] 渋谷区本町三丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 西新宿五丁目駅

清水橋交差点（写真下右）で山手通り（都道 317 号線）と交差します。左へ行くと東中野方面、右へ行くと初台方面です。方南通りはここから都道 14 号線に変わり直進します。



清水橋は近くを流れる神田川の支流の和泉川にかかっていた橋です。1964 年（昭和 38 年）に暗渠化されて現在は遊歩道（写真下右）になっています。橋の欄干部は残されていましたが 2003 年（平成 15 年）山手通りの拡幅工事で撤去されました。交差点には橋の欄干風のモニュメント（写真下左）が残されていました。この辺りは渋谷区と新宿区の区境で、少し行くと中野区に入ります。



## [東京大学教育学部附属中等教育学校] 中野区南台一丁目

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野新橋駅



左側に学校があり、表札を見ると東京大学教育学部附属中等教育学校でした。国立の中高一貫校です。前身は旧制東京高等学校で、戦後は東京大学附属中学校になり、1951年（昭和26年）教育学部の附属中学・高等学校になりました。

## [南台交差点] 中野区南台二丁目

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅



南台交差点（写真上右）で中野通り（都道 420 号線）と交差します。  
左へ行くと笹塚方面、右へ行くと中野方面です。中野区の最南部に位置し西へ進むと渋谷区、東へ進むと杉並区になります。

しばらく進むと神田川（写真下右）にかかる「栄橋」（写真下左）を通過します。



### [方南町交差点] 杉並区方南二丁目

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 方南町駅



方南町交差点（写真上右）で環七通り（都道 318 号線）と交差します。  
左へ行くと大原方面、右へ行くと高円寺方面です。

### [大宮八幡宮] 杉並区大宮二丁目

最寄駅 京王井の頭線 西永福駅

大宮八幡入口の交差点（写真下左）があり右に入る道が参道です。直進して

方南通りをしばらく進むと大宮八幡前の交差点（写真下右）があります。



「御鎮座 960 年 奉祝～東京のへそ～ 子育て八幡さま」の横断幕に沿って右折すると、大鳥居（写真下左）があります。さきほどの大宮八幡入口からの参道はここで合流します。荘厳な木立の中を進むと社殿（写真下右）です。



寅次郎、罪や汚れを落とす「茅の輪くぐり」は知っていましたが、「大宮八幡宮 乞巧潜り（きっこうくぐり）」（写真下左）は初めて知り、くぐりました。



説明板には「7月1日～7月15日に行われる技芸などの上達の神事で左廻り～右廻り～左廻りを三度お潜りください」記載されていました。写真上右は方南通り沿いから入る南参道の大鳥居です。寅次郎は境内からここに抜けました。

## [西永福交差点] 杉並区永福三丁目

最寄駅 京王井の頭線 西永福駅

井ノ頭通りの西永福交差点（写真下右）が方南通りの終点です。左へ行くと大原方面、右へ行くと吉祥寺方面です。



これにて方南通りを起点から終点まで歩きました。起点の新宿中央公園と終点近くの大宮八幡宮は訪問したことがありましたが、途中は初めての道でいろいろ学びました。

## [バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩 379 令和3年10月から掲載済です。

今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。

2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年11月6日見付宿（現在の静岡県磐田市）（江戸日本橋から236km）に到着しまし

た。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。



写真左は「見附 天竜川図」です。天竜川の舟渡しを描いています。中州の手前と奥に2筋の流れがあります。手前の船頭と舟、中州の向こう旅人、遠く霞む森と遠近法で奥行きを表現しています。

袋井から行くと、右手に遠州鈴ヶ森の立て札が見えます。白波五人男の頭目、日本左衛門が江戸で打ち首になり、ここで獄門にかけられたと伝わります。市街地に入る手前に一里塚があり、その先が見付宿です。京から下ると、ここで初めて富士山が見えたところから「見付」の名がついたとのこと。



名物のうまいものは皮が薄く餡がたっぷり入っている又一庵のきんつば（写真上左）、甘みがほどよい見付天神の栗餅（写真上右）です。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝